

神戸新聞

本場のサンタに歓声

子どもら招き
クリスマス会
100人大はしやぎ

甲子園短大



サンタから「メリークリスマス」という意味の手話を教えてもらっ子どもたち―西宮市瓦林町

西宮市の甲子園短大で19日、近くの甲子園学院幼稚園や県立こぼと聴覚特別支援学校の子どもらを招いたクリスマス会が開かれた。「サブライスゲスト」で、フィンランドからサンタクロースも訪れ、子どもたちは大はしやぎだった。

(堀内達成)

日本・フィンランドサンタクロース協会が、人ロ比で一番多くサンタへの手紙を送った自治体にサンタを「派遣」する企画の一環。西宮市が1位となり、この日は、西宮東郵便局とフレンテ西宮にもサンタが現れた。

甲子園短大では、学生主催のクリスマス会に、真っ白なひげを生やした身長約2.5メートルのサンタが登場。すると、集まった約100人の子どもや保護者から歓声が上がった。学生らが手話付きで「シングルベル」の歌などを披露した後、サンタは英語であいさつ。フィンランドで「メリークリスマス」の意味になる手話も交えた。庭で記念撮影もして、サンタが一人一人にクリスマスカードとステッカーを手渡した。

同院幼稚園年中の福岡

穂香ちゃん(5)「同市熊野町は「毎年、わたしは起きているときに来てくれたらいいのに」と話していた。」